

令和4年第3回定例会における一般質問の質問者、質問内容は以下のとおりです。

令和4年9月6日(火)

番号	質問事項	要旨	質問者
1	防災について	(1) 消防団員の定数と報酬について (2) 自主防災組織の現状について (3) 防災訓練について (4) 訓練に関する本市の指導体制について (5) 消防団との連携について (6) 「防災士資格」の取得者について (7) 本市の大雨による被害について (8) 防災無線について	10番 太田芳彦
2	小麦粉不足を補うための米粉利用促進に対する支援について	(1) 米粉の生産を本市の農業政策として研究することについて (2) 米粉生産に関わる補助や利用促進など、他自治体に先駆けた支援策について	3番 鈴木みゆき
3	学校施設整備計画の用地選定に関する考え方について	(1) 学校用地候補地選定委員会の進捗状況について (2) 用地選定にあたっての基本的な考え方について (3) 議会に対する協議や報告について	
4	低所得の子育て世帯について	(1) 本市における低所得の子育て世帯の状況について (2) 低所得の子育て世帯に対する支援について	
5	HPVワクチン接種の状況と子宮頸がん検診受診率の向上について	(1) 現在の状況について (2) 子宮頸がん検診受診率の向上について	
6	前政権が進めてきた新自由主義教育改革による一連の「学校統廃合」を見直し、さがえっ子の輝く未来、明日への希望を実感できる「真」の学校施設整備について	(1) 8月30日に寒河江市学校再編を考える市民の会が提出した要望書と見直し署名に対する認識について (2) 説明会で「計画の修正もありうる」と答弁しながら、8月5日の市報にロードマップを敢えて掲載した経緯と理由について (3) 教育委員会で計画を決定した3月24日の議事録から疑問視される発言の見解について ア「必要な手続きとしてのパブリックコメント(意見募集)だった」(学校教育課長) イ「寒河江中部小学校には不登校児童がいない」「陵南中学校が一番成績良い」ので学校規模の大小が	7番 渡邊賢一

		<p>エビデンス(根拠)にはならない(学校教育課長)</p> <p>ウ「子供の将来を犠牲にして地域が残っても本末転倒だ」(教育委員)</p> <p>(4) 相次ぐ豪雨災害等による指定避難所としての重要性を踏まえた学校建設予定地の選定について</p> <p>(5) 多様な選択肢とされる部活動の地域スポーツクラブ移行への対応と施設整備について</p> <p>(6) 学区見直しや学校統廃合の地ならしといわれるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について</p> <p>(7) 児童・生徒・保護者・教職員の拘束時間を拡大させ、財政上も大きな負担を伴うスクールバス等通学の問題について</p> <p>(8) 「個性の重視」に矛盾し、「個性の埋没」が危惧される中学校統合について、市民の反対が多数の「千人規模マンモス校1校」ではなく、身の丈に合った「中規模2校」とすることについて</p> <p>(9) 市全体の将来像たる「持続可能な新しい学校構想」をまとめる以前に、市民の納得と十分な議論が尽くされていないため、一旦計画を白紙に戻すことについて</p>	
7	物価高で打撃を受ける生活困窮者への支援について	電気代など、今後も値上がり心配される中、生活困窮者への支援など、どのように考えているか	2番 太田陽子
8	学校再編について	<p>(1) 説明会での意見などの取り扱いについて</p> <p>(2) 学校再編の周知などについて</p> <p>(3) 西部地区3小学校と三泉小学校の2段階の統廃合について</p> <p>(4) まちづくりの観点から、学校再編を考えることについて</p> <p>(5) 放課後児童クラブや地域のコミュニティ・スクールなどの関連について</p> <p>(6) 学校の防災について</p> <p>(7) 通学の安全性について</p>	
9	こどもの障がいと現場への支援	<p>(1) 増加する発達障がいについて</p> <p>(2) 愛着障がいについて</p> <p>(3) 幼稚園教諭や保育士の負担軽減について</p> <p>(4) 補助金について</p>	5番 月光裕晶
10	デジタル化でより便利に	<p>(1) 情報発信について</p> <p>ア SNSの運用</p> <p>イ アプリの活用</p> <p>ウ ホームページの更新</p> <p>(2) オンラインでの手続きについて</p> <p>(3) 庁内の業務効率化について</p>	

11	左沢線寒河江—左沢間赤字収支報告について	(1) 左沢線の利用者を増やすことについて (2) 左沢線利用補助制度の創設について	11 番 阿 部 清
12	小中学校におけるICT教育の現状について	(1) 本市のタブレット教育の進捗状況について (2) 小・中学校でのタブレット教育目標について (3) 本市のタブレットの貸与について	
13	輸入原材料高騰により、農業生産資材の価格の高騰が続いているが、本市独自の支援について	(1) 輸入飼料高騰による酪農家への本市独自の緊急支援について (2) 農業生産資材高騰による農家への本市独自の緊急支援について	

令和4年9月8日(木)

番号	質問事項	要旨	質問者
14	有機質肥料を活用し、輸入原料の化学肥料に頼らない農業経営を目指して	(1) 畜産の自給飼料の取り組みについて (2) 化学肥料から有機質肥料への転換について (3) 耕畜連携の推進について	9番 佐藤 耕治
15	災害に強い安心・安全なまちづくりについて	(1) 急傾斜、特別警戒区域の安全対策について (2) 公共施設の豪雨対策について	
16	市内経済活性化に向けて	(1) プレミアム商品券の継続的な発行について (2) 利益率を踏まえた給付金の支給について (3) 様々な物が値上がりしているなか、市発注の公共事業にも影響するのか	8番 古沢 清志
17	災害被害と減災について	(1) 避難中のけが等についての保険適用について (2) 市管理下における河川改修について	
18	児童生徒の安全について	(1) 不審者の把握について (2) 保護者や地域の方との連携について	
19	令和3年度決算について	(1) 令和3年度決算を検証しての感想は (2) 決算内容をふまえ、公共施設の見直し計画に対する影響は (3) 約2年にわたる新型コロナの対応に対する評価をどう検証しているか	14番 柏倉 信一
20	教育行政について	(1) 本市における教育政策全般に対する評価をどのように分析しているか (2) 本市における教育施策をはじめ、政策全体の市内外に対するPRの取り組みについて	
21	3年前から猛威を奮っている新型コロナウイルス対策について	(1) 令和2・3年度決算書「主要な施策の成果に関する説明書」の最後のページ「新型コロナウイルス感染症対策に要した経費」の資料2枚を比較すると、この2年間で多額の財政支出をしてきたことが理解できます。今まさに感染者がピークに達した現況の中で、これまでの2年間の本市を、どのように捉え、今後の対策をお考えなのか。 (2) 施策の一つであり、大好評であった「プレミアム付き商品券」を含めて地域経済の活性化について今後どのように行っていくのか。	15番 木村 寿太郎
22	学童保育全般について	(1) 学童保育は多くの運営方法があると伺っているが、本市はどのような方法を採用しており、課題などないのか。 (2) 各学校の人数や指導により運営の格差などはないのか。 (3) 指導員・支援員等の資格者不足が起こっていないか。 (4) 今後の小学校の統合に向けての課題。例えば保護者の送迎を社会福祉法人や株式会社等へ委託するなどの考えはあるのか。	
23	農業問題	(1) さくらんぼ収穫期における本市職員の農作業従事現況 (2) 来年の取組み	13番 荒木 春吉